

第 2 回 新 町 地 域 審 議 会

総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
「自校方式給食拡充事業」について	1	十分使用できる「新町給食センター」を取壊してまで自校方式へ移行するのは如何なものか。	現在の「新町給食センター」は、昭和59年3月に建設された建物で、年数も経過し、耐震等にも問題がある。また、土地が借地であり、来年6月に返却予定。これら理由により自校方式へ移行するものである。
			高崎市の自校方式は「全国に胸を張れる」貴重なことではあるが、だからといって、全てについて、自校方式へと移行するわけではなく、「使える施設は使う」「職員の配置計画を考える」など、無駄な予算は、使わないようにしたいと考えている。
「体育館建設事業」について	1	新町住民体育館の早期建設をお願いしたい。高崎市中央体育館が新しく建設されると聞いているが、中央体育館との関係もあるのでしょうか。	中央体育館は、昭和38年に建設され、新町住民体育館よりも3年古い施設で、利用者からは「すぐに改築をしてほしい」という強い要望がある。そのようなことから、建替えに向けて、計画を進めている。 その後の施設整備については、新町住民体育館を含め、教育施設全体という視点で捉えながら、優先順位を設けて検討を進めたい。
	2	施設を建設する際の業者選定について、できるだけ市内の業者を選んでいただきたい。	市長は、市全体の建設工事は、「できれば市内の業者に仕事を出したい」と考えている。技術的に市内の業者では、出来ない工事もあるが、それについては、やむなく市外の業者をお願いする。 例えば、新町の住民体育館については、設計、建設ともに市内の業者で可能であると思われる。 また、工事に伴う、資材などについても、なるべく市内の業者から納入していただけるようにと考えている。
	3	新町住民体育館は、全てが「和式トイレ」となっているため、高齢者や体の不自由な方は利用しにくい。トイレの修繕については、どのようにお考えでしょうか。	現状を確認し、修繕や補修の予算化に向けて努力したい。

その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
新町地域のソフト事業について	1	<p>新町地域は飛び地で他の地域と比べて特異な地域である。その中で、高崎市と合併したことにより、新町地域のハード事業については先行して実施されていると思われませんが、ソフト事業については、どのような戦略で新町地域を発展させるお考えでしょうか。</p>	<p>難しい問題ではあるが、新町地域は、都市基盤の整備された住宅地でありながら、市民の音楽活動や演劇活動など、生涯学習や文化活動の盛んな地域であると認識している。審議会委員や皆様のお知恵をお借りしながら、魅力ある地域にしていきたいと考えている。</p>
東日本大震災に関する、瓦礫処理について	1	<p>東日本大震災に関する、瓦礫処理について、高浜クリーンセンターの処理能力などの問題もあり、難しいとは思いますが、高崎市として、何かできることがあると思われませんが、どのようなお考えをお持ちですか。</p>	<p>東日本大震災の瓦礫処理については、日本人として、また、地方公共団体の首長として、何とかしてあげたいと真剣に考え、迷っている。高浜クリーンセンターの処理能力の問題等もある。高崎市は、農業地帯もあり、また、放射能汚染による風評被害で苦勞をした農家のみなさんの姿を見ているので、瓦礫処理問題については極めて慎重になっている。</p> <p>一方、高崎市として何が出来るのか考えて、ビジネスの活性化や農産物販売の支援など、被災地の要望を聞きながら、高崎市で出来ることを見極めながら支援を行いたいと考えている。</p>